

教室現場からの コメント

2019年5月吉日 かわらばん vol.4

このテキストに切り替えてから、学習者が休み時間にページを開いて楽しそうに読む姿を見ることが増えた、というのが率直な感想です。

大学における日本語補講では、これまで文法積み上げ型の教科書を使用してきました。ですが、限られた時間の中で、その教科書の内容をいくらそぎ落として自分なりのシラバスを進めても、なかなか満足なことができませんでした。

『まるごと』は、〈かつどう〉をメインテキストにし、教師側が指導内容を適宜入れ替えながら、進めることができるという点で、非常にいい教材だと思います。

地域の日本語教室でも、やはり、週一回という頻度で行う授業でしたから、なかなか活動までつなげていくことができませんでした。学習者の方が、自宅で楽しみながらページをめくるということは、望めませんでした。このテキストは、オールカラーでありながら、価格が廉価に抑えられており、眺めても楽しい教科書だと思います。

私がこれまでに扱ってきた教科書の中では、お勧めできる本の中の一冊だと思います。

（愛知教育大学 教育学部
日本語教育講座 教授
上田崇仁先生）

【対象者：学部交換留学生、研究生、地域の生活者としての外国人】

「ひとりでバスや電車に乗り、お店の人と会話しながら買い物したい」、「学校で友達と楽しく会話したい」、「市報を読んだり地域の情報を知りたい」など、生活に密着したニーズがあります。

佐賀県内には10か所ほどボランティア日本語教室があり、学習者の属性も、留学生、実習生、配偶者、ALT、就労者とその家族など、地区によってさまざまです。学習の目的も、実習生のみなさんは「JTOの勉強をしたい」が大多数ですが、その他の方たちは「会話ができるようになりたい」という理由で教室に來ています。

文法重視の教材では、会話ができるようになるまでに時間がかかるため、何かい教材はないかと探していたところ、『まるごと』に出会いました。県内でも使用しているところが多いので、どのような使い方をしているのか、仲間と情報交換しない

から使っています。

学習者さんにとどの教科書で勉強したいか聞くと『まるごと』を希望する人が多いです。試験も大切ですが、「コミュニケーションが取れるようになる」という点では『まるごと』が強いと思います。

『まるごと』で学ぶうちに主語を使わない表現にも慣れ、推測ができるようになることが大きいのだと思います。学習者さんと会話弾む教材です。

（佐賀県 唐津日本語教室
内山智子様）

【対象者：留学生、実習生、ALT、配偶者、就労者とその家族など】

オンライン教材が充実している『まるごと』は、自律的に勉強できる人にはとても効果的だと思います。

オランダでオンライン日本語学校を経営しています。2019年1月から『まるごと』シリーズを主教材とした日本語コースの提供も始めました。Web会議システムを使った2〜4名の少人数クラスで使用しています。プライベートレッスンで『まるごと』を選択する人も何人かいます。

昨年から、初級2（かつどう）を使っている生徒の一人が、「最近（へりかい）も購入して、自分で勉強を始めています」と言っていました。国際交流基金のオンラインコース「みなと」、「かつどう」を使った私とのオンラインプライベートレッスン、（へりかい）での自主学習を、うまく組み合わせ勉強しているようです。主に予習に使ってもらっている「みなと」は、文化紹介ビデオの評判が特にいいです。

一方、世代が少し上の人には「テキストに直接書き込める」とことが満足感や達成感、学ぶ楽しみに繋がっていたりもします。私自身、オランダ語の勉強にオンライン教材やアプリを使ったり、Skypeレッスンを受けたりましたが、家でメインに使っていたのは重くて持ち運びに不便な「紙の本」でした。

『まるごと』は、学習者自身の発想と言葉による自由な発話が引き出しやすいので、クラスでもプライベートでも和やかで笑みまみれになるレッスンが自然にできると思います。

（Amieke Online Japanese Language School
アミーケ日本語オンライン代表

【対象者：一般、大学生】
日本語教師 須賀美紀先生



@marugotonihongo
#まるごと日記

『まるごと』関連の最新情報をはじめ、授業の工夫や学習者の反応、Youtube 動画などのポートフォリオ、先生自身の気づきや振り返りなどを共有しています。

Michi @LearnJP_Cairns

まるごとのトピックに触発されて、生徒さんが自分の体験談を 3 ページも書いてきた！自律学習いいなあ！宿題出してギッチギチだったらきっとこんなことしてこなかっただろうな。

Yumi @yumiko_uh

授業の目標を Can-do で立てると、「こんな会話、日常生活の中で本当にするかなあ」とか「この文型、一体どんなときに使うんだ？」とか「この漢字を手書きする機会って誰にとってどのくらいあるんだろう？」とか教師が頭を絞って考える習慣が付き、学習項目が厳選できるようになるメリットがある気がする。

Chippy @Chi_ppy2

写真を見て考える時間
会話文を見て考える時間

絵を見て音を聞いて推測する時間
知ってる言葉を頼りに推測する時間

『まるごと』には教師は黙って、学習者が自分で気づき学ぶ時間がたくさんあります

先生から教えてもらったのではなく、自分でつけたことがどんどん頭の中に蓄えられていくわけです。

ひろとも prof de japonais @tmkhirose

スイスは CEFR が浸透しており、当校では仏語や独語などが行動中心メソッドなので、日本語も当然その流れで『まるごと』を使っています。教科書には大満足です。第二言語習得研究の知見が盛り込まれてると思いますし、これを使わないなんて残念すぎると思うくらいです。

めい_日本語教師 @kemecchi

プライベートレッスンで『まるごと』を使い始めてから、同僚の 2 年目の先生があきらかに楽しそうな様子。色んなアイデアも出してくれるようになり、うれしい限り♪

ぬの★セブ日本語 3.0 @wanderon100

『まるごと』の面白いところは、音声ファイルや本文テキストの中に思わず授業で触れたくなるようなネタ・表現が《しれっと》入っていること。そこをどこまで注目して深堀りするかは講師の裁量次第。厚さの薄いテキストなのに授業をひろげるための余白がちゃんと用意されている感じ。そこがまたいい。

Emi @emi_mt106

中学校の取り出しで『まるごと』を使用。次回ビデオに収めて、学校の先生方にクラスの様子を見せようかな。おとなしいあの子がこんなに話すんです！



このような教育機関で使われています
(50 音順・敬称略)

京都大学／京都外国語大学日本語学科／西南女学院大学人文学部英語学科（日本語教育実習コース）／東洋大学国際部国際課／山梨大学国際交流センター／神田外国語大学神田外国語キャリアカレッジ／学校法人穴吹医療福祉専門学校／学校法人ニッケン学園／グローバルランゲージ語学スクール／国書日本語学校／渋谷外国語専門学校／日本国際文化教育学院東京校／ベルリッツジャパン／ランゲージ日本語学校短期コース／レクシス語学学院 他多数



『まるごと』採用コメントや、
内容に関するお問い合わせ
mdev@sanshusha.co.jp

お見積りなど
webmaster@sanshusha.co.jp



〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-2-22
青山熊野神社ビル B1F

<http://www.sanshusha.co.jp/>